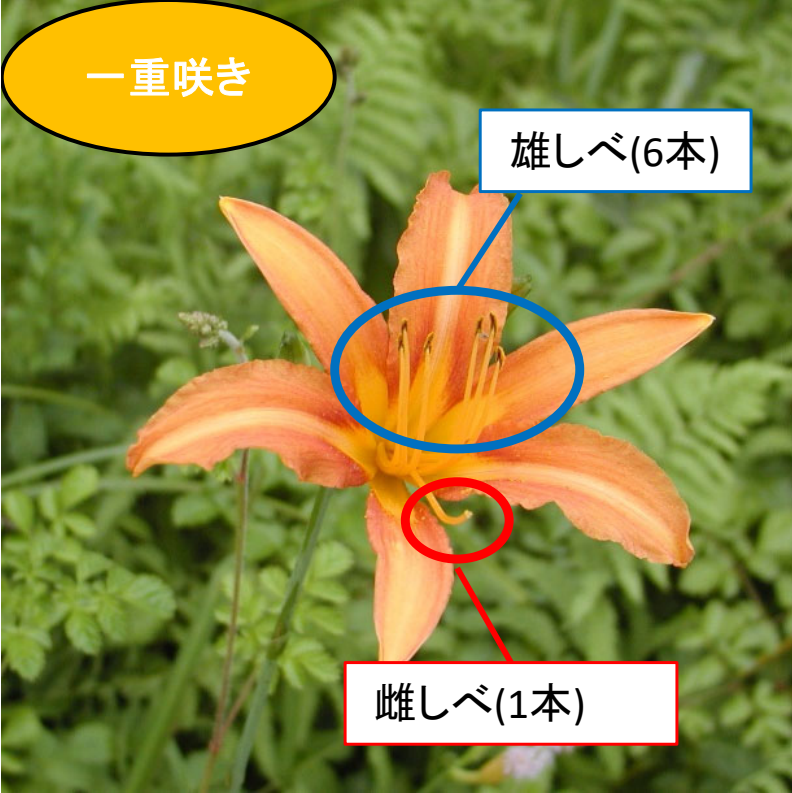


ノカンゾウ

ワスレグサ科

野原や溝のふちなどに見られる多年草。

細長い葉の間から60cmほどの花茎を伸ばし、先端にラッパ状の花を数個咲かせる。



一重咲き

雄しべ(6本)

雌しべ(1本)

八重咲き



ヤブカンゾウ

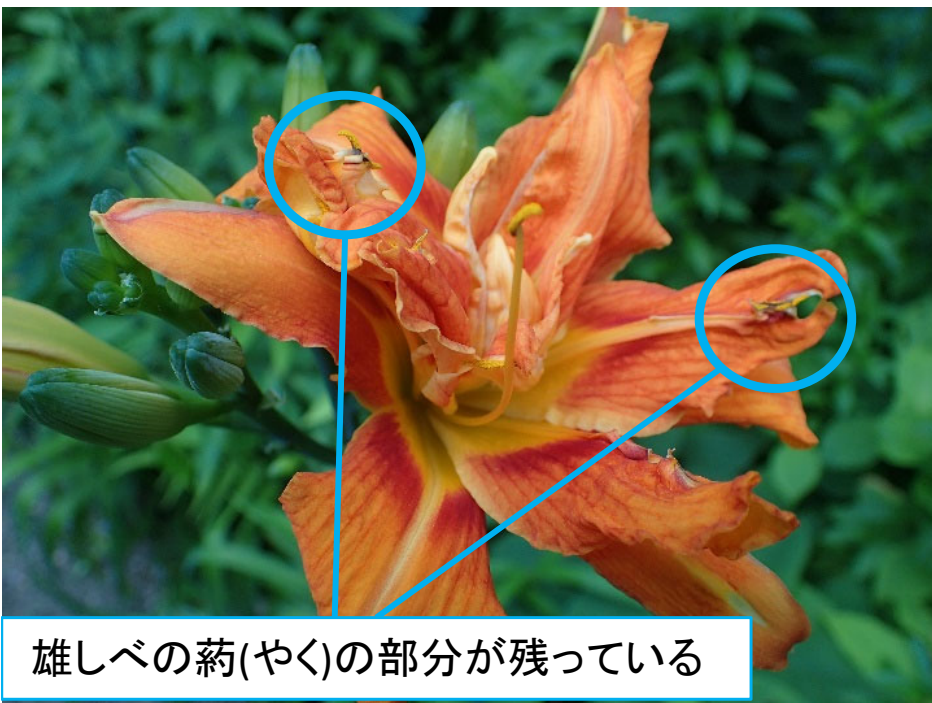
ワスレグサ科

ノカンゾウと同じく野原などに生育する多年草。有史以前に中国から帰化したと考えられている。

伸びた花茎の先に、ノカンゾウとは異なり八重咲きの花を数個咲かせる。

ヤブカンゾウは雄しべと雌しべが花弁に変化するため、形態的に受粉が起きない。

雄しべは一部花弁に変化しないものもあるため、花弁の枚数や雄しべの有無、本数は不規則。



雄しべの葯(やく)の部分が残っている